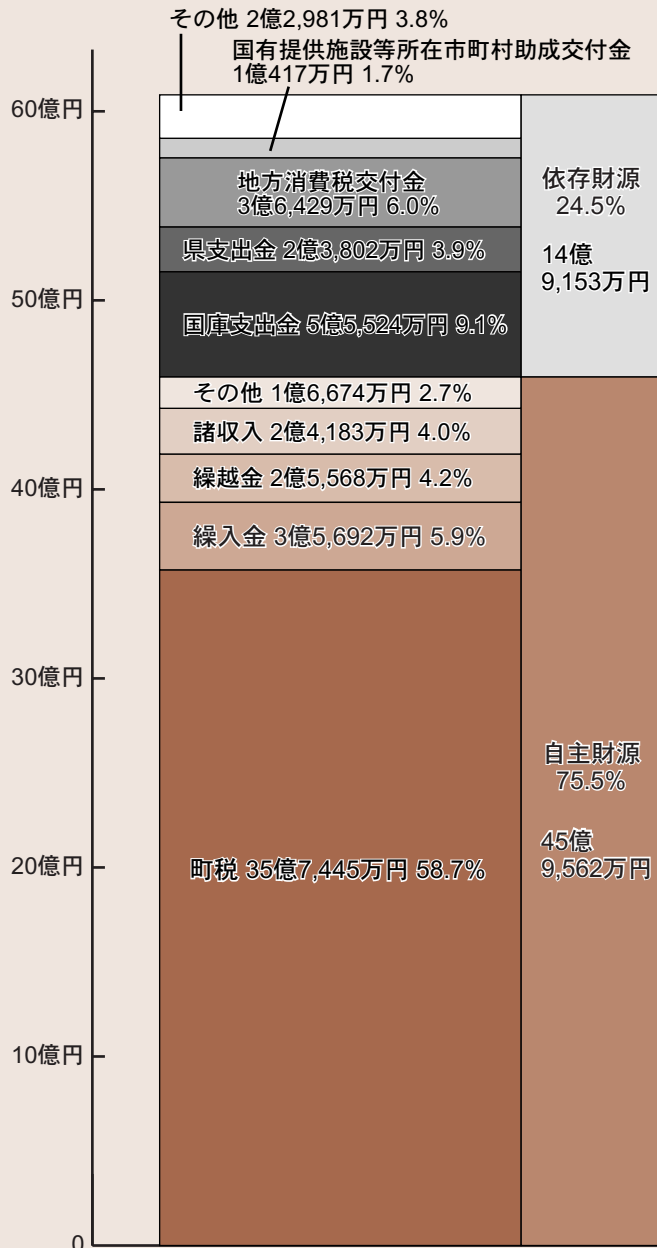


歳入

歳入総額 60億8,715万円

歳出

歳出総額 58億2,279万円



自主財源：町税など町が自主的に収入できるお金
 依存財源：国庫支出金など国や県によって金額が決められたり、割り当てられたお金

▶問合せ 総務課企画財政・情報係
 ☎28・0913

特集

平成二十七年豊山町一般・特別会計歳入歳出決算審査意見書(抜粋)

豊山町監査委員 大野真一
 栗田昌子

一般会計及び特別会計の決算総額は、歳入九十六億九百九十四万二千三百七十円、歳出九十二億四千九百三十二万九千九百四十四円、歳入歳出引額三億六千六百六十一万二千四百六十六円、翌年度へ繰り越すべき財源三千九百八十八万二千二百五十五円を差し引いた実質収支額は、三億二千七十三万二千二百六十一円の黒字を計上した。

一般会計において対前年度比でみると歳入では、自主財源の柱である町税収入において、個人町民税が三千二百六十四万四千七百五十六円の増額となり、これら二税目が増加する一方で、法人町民税が二億七千九百二十三万二千二百七十九円減額となり前年より約三割の減収となった。歳出は主に土木費の一億三千二百一十一万三千九百二十五円、教育費の七千七百七十一万二千八百九十円が増額した。

減少したのは総務費の△一億六千八百七十八万八千七百七十七円を始め、議会費、衛生費、消防費、公債費が減額となったが、全体では五千三百六十八万三千二百六十五円増額となった。

しかし、一般会計の実質収支額は、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いても黒字となっている。特に、収入の未済額については、負担の公平性、財源確保の観点から、効果的かつ効率的な徴収対策を実施するなど、収入未済額の解消に一層努力を望む。

将来のまちづくりに向け第四次総合計画を推進し、「人」「産業」「生活空間」がキラリと輝くまちづくりの重点施策の取り組みにあわせ、人口減少と地域経済縮小の克服に向けた「豊山町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を推進し、本町を飛躍へと導くべく各計画に沿った事業を着実に遂行し、より一層、町民が望むまちづくりに向け努力されることを期待し、決算審査の意見とする。

▼問合せ 監査委員事務局(議会事務局) ☎28・6004